■吉高勘解由 藩政家。新庄藩の嘉永の改革を推進した名家老で、高齢になって戊辰戦争に遭遇し、戦病死した。
よしたかかげゆ
ツツ船狼藉・1807＝ 秋田仙北の檜岡城主をルーツとし代々新庄藩主の御用人をつとめる吉高家の織部の子に生まれる。

伊能測量終・1816＝9歳：

水野忠成老中1818＝11歳：

異国船打払令1825＝18歳：

シボ木追放・1829＝22歳：_家督を相続し、勘解由を名乗る。

高島砲術・・1834＝27歳：

大塩平八郎乱1837＝30歳：

_寺社奉行・御用人などの要職をこなして注目され、

_幼い藩主を後見していた前々代藩主の戸沢正胤に見込まれて、

順天堂始・・1843＝36歳：

天保改革終・1844＝37歳：*御近習御用書加判(秘書長に当る)に任じられ、

阿部正弘首座1845＝38歳：_藩政改革のために新設された御手元並郷中御備米掛に転じ、中老職について改革責任者となる。

孝明天皇・・1846＝39歳：*家老職に任じられ、

_深刻な財政難のなか、有能な人材を登用し、自宅は2度放火され、いつ襲われるかというほど、藩士の反対を受けるなか、勇気をもって次々と革新的政策を断行し、“嘉永の改革”を成功させ、

尊徳報徳論・1851＝44歳：_その功で、知行500石を与えられる。藩主の信頼厚く、

万次郎帰国・1852＝45歳：*病気を理由に辞職を願い出るも許されず、

ペリー来航・1853＝46歳：

_その後も辞職を願う都度、備前長船の名刀を与えられるなどして、慰留され、

桜田門外変・1860＝53歳：

遣欧使節・・1861＝54歳：

_体力衰えると駕籠での登城まで認められたが、

薩長同盟・・1866＝59歳：*ようやく家督を嫡子に譲って隠居するも、

明治維新・・1868＝61歳：_戊辰戦争が起こり、老齢をおして従軍し、秋田まで敗走したところで戦病死した。